

総合福祉センター事業評価表 障害者福祉センター事業分

項目	区分 (仕様1、自主)	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		令和2年度の実施状況		令和3年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
					R2年度	R3年度	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)		
社会生活 適応訓練	1	がんばろう会 ◇主に知的障害者対象 ・日常生活訓練 ・家事訓練 ・外出訓練	48	毎週月曜	・自立して生活ができるよう、自主性を尊重。 ・利用者同士の話し合いにより活動内容を決めて実施。 ・レクリエーションを交えながら活動することで、仲間づくりや社会ルールを身に付ける。 ・買物に出掛けたり、簡単に出来るおやつや昼食作りをする事で、生活する力を身に付ける。 ・屋外活動を体験をする事で、社会ルールを学ぶ。	12	12	41	382	33	348	△ 8	△ 34	(1)閉鎖期間の影響により、参加延べ人数と実施回数が減少した。 (2)閉鎖期間中は、参加者へ電話連絡を実施し、相談等の支援をした。また、2回目の閉鎖期間では、自由来館者の受入れを実施した。 (3)コロナ禍によりできる事が限られていたが、新たに簡単な楽器が演奏できるように練習を重ねた。個々の能力に合わせ、ピアノ・ハンドベル・太鼓などを練習し、11月に老人センターとの合同事業で演奏会を実施し、達成感を得る事ができた。(11/22) (4)外出では、犬山市にあるリトルワールドへ社会見学に行き、社会適応訓練に繋がりました。(11/8) (5)12月に1名の利用者が登録（再開）され、利用開始した。
	1	かがやき ◇主に視覚障害者対象 ・日常生活訓練 ・家事訓練 ・外出訓練	24	第2・4水曜	・仲間と一緒に出来る事の楽しさを知る。	12	12	23	188	14	85	△ 9	△ 103	(1)閉鎖期間中は、参加者へ電話連絡を実施し、相談等の支援をした。また、独居の方や地域と関りが少ない利用者に対し、個別訪問の支援を実施した。 (2)2名の方が体調不良等により、3ヶ月程度利用休止になり、延べ人数が大きく減少した。 (3)歩行訓練を兼ねた公園散歩を多く取り入れ、利用者のニーズに沿った活動ができた。 (4)地域福祉課の男のコーヒー講座を受講したボランティアに来ていただき、淹れ立てのコーヒーを飲む時間が好評であった。(8/11)
	1	ふれあい ◇主に重度心身障害者対象 ・日常生活訓練 ・家事訓練 ・外出訓練 ・音楽療法	48	第1～4木曜 午前	・意欲と能力に応じて生活を 送れるよう支援する。 ・自立支援や仲間作りをする。	12	12	41	518	34	193	△ 7	△ 325	(1)今年度から、午前中の活動となった。2回の閉鎖期間と、半日活動の影響により、延べ人数が大きく減少した。 (2)コロナ禍の中でもできる活動を参加者で話し合い、作品作りやゲームの活動を実施した。作品作りでは、ペットボトルのキャップを使用した大きな作品を、作業を分担して完成させた。 (3)外出では、紅葉狩りとして永保寺へ出掛ける事ができ、季節を肌で感じる事ができた。(11/4)
	小計		120					105回	1088人	81回	626人	-24回	-462人	
創作活動	1	俳句教室 ・講師の指導により実施	24	第1・3火曜 午前	・自分の気持ちを俳句で表現することにより自分を見つめ直す事を目的とする。	12	12	18	70	17	62	△ 1	△ 8	(1)登録者が10人以上の教室の為、2グループに分けて開催した。 (2)閉鎖期間中は、自宅で俳句を作成していただき、講師が添削・推敲した内容を電話で伝え、在宅支援に繋がった。 (3)伊藤園が主催する作品コンクールで、1名の方が佳作に選ばれた。(10月)

項目	区分 (仕様1、自主)	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		令和2年度の実施状況		令和3年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
					R2年度	R3年度								
					実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)				
	1	絵手紙 ・講師の指導により実施	12	第4火曜 午後	・自分の作品を作るとともに、他の参加者の作品と比較し交流を深める。	12	12	9	38	7	51	△ 2	13	(1) 講師の指導のもと、教室活動を行った。 (2) お互いに教え合いながら活動に取り組む姿勢が見られた。 (3) 3月に、総合福祉センター1階ロビーにて作品展を開催した。一般来館者が多く見学され、作品や教室のPRに繋がった。
	1	切り絵	24	第1・3水曜 午前	・細かい作業をする事で指先のリハビリにつなげる。 ・完成した時の喜びを期待する。	12	12	20	139	16	95	△ 4	△ 44	(1) 閉鎖期間中は、電話連絡等を実施し、相談等の支援をした。 (2) 講師がいない為、参加者同士で切り方や色の配色等を相談して活動され、交流の場にもなっている。 (3) 9月に岐阜市で開催予定だった作品展が中止となり、外部への展示機会が減ってしまった為、福祉センター内や教室内でミニ作品展を開催し、個人の意欲向上に繋がった。
	1	サロン	12	第2火曜 午後	・簡単な おやつ作りや、軽スポーツ・買物等誰でも参加でき、仲間と一緒に楽しむ。	12	12	10	74	9	77	△ 1	3	(1) コロナ禍でも出来る活動を参加者と話し合い、今年度は個人作品とレクリエーションを中心に実施した。 (2) コーヒーボランティアによる淹れ立てコーヒーを飲みながら行う茶話会や、缶バッジ作りが参加者から好評で、来年度も実施を希望する声が多くあった。
	1	ちぎり絵	12	第4月曜 午後	・誰でも参加でき、簡単な画材から始め、表現力・集中力・根気さと指先のリハビリに繋げる。	12		4	19					R3年度は休講(講師がボランティアであり、受入れを制限したため)
	1	ペン習字 ・講師の指導により実施	6	第1木曜 午後	・講師の指導のもと、文字の成り立ちを正しく学び、綺麗な文字が書けるようにする。	R3新規	12			3	8			(1) アンケート調査より、開催を希望する方が多かった為、10月から開始した。 (2) 閉鎖期間中は、講師のお手本を参加者へ郵送し、自宅支援に繋がった。 (3) 他の利用者へ教室のPRを続けた結果、次年度は登録者が今年度の3名から6名に増える予定。
	1	自主活動日 ・自由来館者含む	24	第1・3金曜 午後	・誰でも自由に来館し、他の利用者と交流をはかりながら、各自の活動に取り組む。	15	15	11	50	18	103	7	53	(1) 2回目の閉鎖期間中、教室・講座の開催は中止であったが、登録日に自由来館を可とし開館した為、参加延べ人数が増加した。 (2) 個人で制作テーマを決め、自主的に取り組まれていた。 (3) 自宅では気が散るが、センターでは集中して作品作りに取り組める、と参加者から好評であった。
小計			114					72回	390人	70回	396人	-2回	6人	

項目	区分 (仕様1、自主)	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和2年度の実施状況		令和3年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R2年度	R3年度							
								実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	
スポーツ・レクリエーション	1	がんばろう会 ◇主に知的障害者対象 ・スポーツ活動	12	毎週月曜日 (第2月曜 午後を除く)	・健康の維持増進と 身体機能の向上、 社会性や協調性を 養う。	12	12	5	27	8	50	3	23	(1)風船バレーやバドミントンなど楽しみながら仲間との交流を実施した。 (2)公園の散歩では、犬の散歩中の方や地域の子供達と交流しながら参加することができた。 (3)マスク着用の為、時間を短縮して活動を実施した。
	1	がんばろう会 ◇主に知的障害者対象 ・リズム体操 ・講師の指導により実施	12	第2月曜 午後	・身体を使って エネルギーを発散する。 ・仲間と同じ目的に 向かって行動する。 ・発表の機会を設けて、 達成感を味わう。	12	12	8	46	8	47	0	1	(1)講師の指導のもと、音楽に合わせて体を動かした。 (2)マスク着用の為、時間短縮及び簡単な動きのリズム体操を主とし実施した。 (3)利用者からは、もう少し体を動かしたダンスがやりたい、と意見があった為、次年度より実施する。
	1	サウンドテーブルテニス ◇主に視覚障害者対象	12	第4水曜 午前	・視覚障害者の方にとって 楽しみにしているスポーツ で あり、仲間と楽しむ。	12	12	7	36	5	24	△ 2	△ 12	(1)閉鎖期間の影響により、実施回数と参加延べ人数が減少した。 (2)楽しみながら良い運動ができる機会となっており、参加者から好評だった。
	1	かがやき ◇主に視覚障害者対象 ・音楽療法 ・講師の指導により実施	12	第4水曜 午後	・音楽を楽しみながら、 嚙下や身体機能向上を 図る。	12	12	10	49	6	26	△ 4	△ 23	(1)閉鎖期間の影響と、利用者の体調不良が続 き、実施回数と参加延べ人数が減少した。 (2)感染防止を強化する為、時間の短縮及び楽器演奏や音楽鑑賞を主として実施した。 (3)参加者のリクエスト曲を活動に取り入れ楽しむ事ができた。
	1	3B体操 ・講師の指導により実施	24	第2・4火曜 午前	・楽しく運動機能の 維持を図る。	12	12	16	63	16	64	0	1	(1)講師の指導のもと、マスク着用でも運動ができるように時間を短縮して実施した。 (2)道具を使った体操に興味を持つ方が多く、登録者が4人から6人に増えた。
	1	ポッチャ	12	第1金曜 午前	・楽しみながら身体を動か し運動不足解消と身体機能 維持を図る。また、パラリ ンピックの種目の普及・促 進を図る。	15	12	12	41	11	41	△ 1	0	(1)障がいの種別関係なく参加する事ができ、参加者は楽しみながら体を動かす事ができた。 (2)ボールを投げる強弱や向きを頭の中で考えて行う為、体を動かしながら頭の体操にも繋がった。
	1	風船バレー	12	第3金曜 午前	・楽しみながら身体を 動かし運動不足の 解消と身体機能の 維持を図る。	12	12	7	28	6	26	△ 1	△ 2	(1)2チームに分かれ、風船バレーで対決をしながら、身体機能維持、向上につながる運動を行った。 (2)マスクを着用して行う運動は、時間短縮で実施した。 (3)教室登録者は、8月から1名増えたが、利用者の急な欠席が多くあり、利用者増には繋がらなかった。

項目	区分 (仕様1、自主)	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		令和2年度の実施状況		令和3年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
					R2年度	R3年度								
					実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)				
	1	軽体操 ・機能訓練 ・講師の指導により実施	18	第1・3水曜 午後	・講師の指導のもと専門的に身体機能の維持を図る。	12	12	20	76	12	39	△ 8	△ 37	(1)今年度より、ラジオ体操指導員の資格を持つ講師の指導により実施。10月から月2回実施。 (2)閉鎖期間の影響により、実施回数と参加延べ人数が減少した。 (3)日常動作に必要な筋力アップを目的とした体操は、参加者から好評だった。
	1	音楽療法 ・講師の指導により実施	24	第1・3火曜 午後	・精神的安定と嚥下機能の向上を図る。	12	12	16	84	15	79	△ 1	△ 5	(1)大きな声で歌う事を制限し、楽器演奏と音楽鑑賞を主としたプログラムで実施した。 (2)参加者のリクエスト曲を活動に取り入れ実施している。 (3)プロジェクターを使用した音楽鑑賞のプログラムは好評だった。 (4)まん延防止及び緊急事態宣言発令中は、活動を中止する事を講師と話し合いで決めた。
	1	ヨガ教室（呼吸） ・講師の指導により実施	24	第2・4金曜 午前	・自分に合った動きと呼吸により、身体機能の維持と精神の安定を図る。（呼吸中心）	12	12	19	191	15	108	△ 4	△ 83	(1)閉鎖期間の影響により、実施回数と参加延べ人数が減少した。 (2)昨年度から、感染予防の為マットを使用したヨガを休止にしていたが、今年度は、イスに座って行うヨガの中でも、午前は呼吸を整える体操を主として実施し、午後は筋力向上を目指す体操に変えて実施した。
	1	ヨガ教室（筋力） ・講師の指導により実施	24	第2・4金曜 午後	・自分に合った動きと呼吸により、身体機能の維持と精神の安定を図る。（筋力中心）			0	0	15	56	15	56	
	小計			186					120回	641人	117回	560人	-3回	-81人
更生相談	1	障がい者にかかる相談全般		随時	・身体状況、生活状況、福祉制度等の相談や介護方法の助言を行う。	15	14	随時	43	随時	170	随時	127	(1)閉鎖期間中、利用者への電話相談支援を実施した為、延べ人数が大きく増加した。 (2)コロナ禍の影響が強く、生活において困っている事の相談が半数あり、その利用者の生活に寄り添った助言をし、支援に繋げた。
	小計			0					-	43人	-	170人	-	127人
リハビリ指導	1	リハビリ指導	96	毎週水・金曜 午前	・身体機能の保持、機能回復を支援する。	12	12	78	246	59	158	△ 19	△ 88	(1)鍼灸マッサージ師による機能回復及び維持を目的とした身体リハビリを毎週水曜日と金曜日に実施した。 (2)閉鎖期間の影響により、実施回数と参加延べ人数が減少した。
	小計			96					78回	246人	59回	158人	-19回	-88人
送迎サービス	1	送迎サービス		随時	・通所が困難な方を対象とし、自宅までの送迎を行う。	12	12	随時	2,048	随時	1,584	随時	△ 464	(1)教室の参加者で自力または家族送迎が困難な方に送迎サービスを実施した。 (2)閉鎖期間や参加延べ人数の減少により、送迎利用者も減少した。
	小計			0					-	2048人	-	1584人	-	-464人

項目	区分 (仕様1、自主)	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		令和2年度の実施状況		令和3年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
					R2年度	R3年度							
							実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	
その他	1	コロナ禍において、中止の事業 ①障害者レクリエーション交流会（7月） ②障がい者社会見学ツアー コロナ禍において、代替及び縮小して実施した事業 ③地域交流福祉まつり ④季節的行事 ⑤福祉体験 ⑥絵手紙コンテスト		①障がい者レク交流会 ・誰でも参加できる軽スポーツ等で 障がい者、介護者、ボランティアの交流を図る。 ②障がい者社会見学ツアー ・日ごろ外出する機会の少ない障がい者の方に外出する機会を提供し、家族、友人、ボランティアと一日楽しく過ごす。 ③地域交流福祉まつり ・障害者福祉センターの幅広い周知 ④季節的行事 ・伝統、文化の継承 ⑤福祉体験 ・福祉体験、福祉講座を行う事により、障がい者への理解を深めてもらう。 ・将来の福祉人材育成のきっかけ作り。	12	12	11	443	11	472	0	29	①レクリエーション交流会は、感染防止の為、中止とした。次年度より、コロナの影響にもよるが、障害者センター登録者を対象に、半日による時間短縮で開催できるように検討する。 ②今年度中止。次年度は、3月に参加者を制限し、開催を予定している。
													③地域交流福祉まつりは、地域福祉課・児童センター合同の「ふくしの日」のイベントで、障がい者スポーツのポッチャ体験講座を予定していたが、中止となる。（11/13）代替として、旭ヶ丘児童センターの子供たちに対し、障がい者スポーツの啓発活動を実施した。（3/・30） ④他部署の老人・児童と夏祭りや運動会を計画していたが、コロナの影響により、ふれあう機会は中止となった。代替として、縁日遊びや運動会の種目をランキングで発表し、各々のタイムや回数を他部署と競い合い楽しんだ。 ⑤感染対策等を徹底し、7、10、11月に小学校を対象に車椅子体験等を4回実施した。次年度は、地域の児童を対象に、福祉体験を実施予定。
				⑥絵手紙コンテスト（新規） ・文化芸術活動を通して障がい者の個性と能力の発揮及び社会参加の促進を目的とするコンテスト。	R3新規	13			1	31			⑥今年度から新たに開催した絵手紙コンテストは、まん延防止期間中ではあったが、31名の応募があった。（2/22）出品者からは、作品を披露する機会がなかったから嬉しい・生きがいができた、など喜ばれる声が多くあった。作品の出品や展示を通して会話が生まれ、交流にも繋がっていた。今まで関りがなかった団体から応募があった。
総合評価書 1(運営・利用状況)-(2)(市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内))点数						12.25	平均値を自動計算。※①行を追加した場合は、計算式を調整すること。※②小数点第3位を四捨五入し、総合評価書へ転記。						
				①土曜教室(ふれんど) ・障害者の事業所を 利用している方などの余暇活動と仲間作りの機会を提供する。									①自主事業のふれんどについては、今年度はすべて中止。次年度より、毎月の開催ではなく、イベント等に声をかけ参加していただく単発活動として実施予定。

項目	区分 (仕様1、自主)	具体的内容	目標・ねらい		年度評価		令和2年度の実施状況		令和3年度の実施状況		前年比		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価				
					R2年度	R3年度											
					実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)							
その他	2	コロナ禍において、中止の事業 ①土曜教室（ふれんど） ②単発教室			②単発教室 ・通常のセンター利用者だけではなく、広く市内全体に公募し利用者拡大を図る。	12	12	3	78	4	67	1	△ 11	②料理教室等を開催できるように計画していたが、感染対策の為中止にした。次年度は、「己書」の単発教室を予定している。			
		コロナ禍において、代替及び縮小して実施した事業 ③障がい者団体意見交換会 ④交流事業												③障がい者団体意見交換会 ・各障がい者団体が一同に意見交流をし、事業の参考にする。	③例年開催していた5月の開催を中止とし、代替として、各団体の代表者宛てに障害者福祉センターの事業報告を郵送等により実施した。当面の間、意見交換会は中止とし、書面の報告及び各団体が実施する活動のPR等の橋渡しを担うようにする。		
																④交流事業 ・複合施設の利点を活かすとともに、社協が運営する他施設との交流を図る。	④内部・外部とふれあう交流等は中止にした。代替として、教室内での季節的行事を取り入れ実施した。また、池田保育園との交流では、新たにリモート交流会を開催し、画面を通してじゃんけん大会やクイズ大会を実施し、交流を深めた。（1/20）
		その他小計(仕様+自主)															
総合評価書 1(運営・利用状況)-(3)(自主事業の企画・運営・実施状況)点数							12										

【留意事項】

1. 「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。
2. 新規事業、廃止事業については、実施事業の項目を適宜斜線とする。